

平成27年度第2回豊田市図書館協議会 議事録

日 時：平成27年10月8日（木）午後1時15分～午後3時15分

場 所：豊田市中央図書館7階会議室

出席者：豊田市図書館協議会委員 9名

豊田市中央図書館職員（事務局） 7名

1 開会

2 教育行政部副部長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

中央図書館の効率的・効果的な運営体制について
別添資料（中央図書館の効率的・効果的な運営体制について）に基づき事務局より説明

（委員）

アウトソーシングすることについて、どんな業者を想定していますか。

（事務局）

民間ならどこでもいいものではなく、図書館のことを深く知る、専門性の高い業者を考えています。

（委員）

委託の拡大と指定管理とはどう違い、また業務がどう変わるのですか。

（事務局）

委託の拡大も、指定管理も市の業務を請け負う部分は似ていると言えると思います。最大の違いは、委託の場合、仕様の範囲内で市の業務を行えますが、指定管理は、市から委ねられた業務を市に代わって行い、加えて、仕様等で認められた範囲内で自主事業が展開できる点です。このため、似てはいますが、指定管理の方が委託より、施設の維持・管理・運営等、幅広い業務に事業者のノウハウ、強みを活かすことが期待できるものだと考えています。

(委員)

指定管理となった場合、市の財政が管理者の収入源となるわけですが、市の財政が緊縮するなか、指定管理者は利益が出ないことはやらないのではないのでしょうか。

(事務局)

指定管理者は、金銭面の利益のみでなく、この事業への参画や全国的な展開をしている事業者にとっては、その規模による効率的な業務運営が期待できることや、会社のイメージアップにつながるという考えもあると思います。

(委員)

図書館運営で民間事業者に求める活力とは何ですか。

(事務局)

図書館業務を得意とする事業者が全国にいくつかあります。他市での取り組み実績を持つことで、業務の選択や人材活用に幅が持てると思います。また、人材確保については、地元採用も重視し、郷土の人材として確保ができると考えます。

(委員)

指定管理の導入とICタグ導入によりカウンター要員を減らし、レファレンス要員の充実をするということですが、レファレンスの人材育成等にかなりの資金が必要ではないでしょうか。

(事務局)

市の行政にはそのスキルが少ないですが、専門的なスキルを持つ業者に任せることにより、人的投資や育成については効果的な運用が期待できると考えています。

(委員)

図書館のボランティア等の関係団体との意見交換は今後予定されていますか。

(事務局)

図書館はボランティアに支えられている施設です。図書館運営は、行政だけでは実現できないという前提で、今後は何回もボランティアとの意見交換をしていきたいと考えています。

(委員)

アウトソーシングは難しい点が多くありますが、他市で抱えている事例やメリット・デメリットの研究をすることが大事だと思います。

(委員)

アウトソーシング等、外部の導入は新しい風も入り一概にデメリットばかりではないと思います。やり方を間違わなければ、いい制度だと思います。

(委員)

生涯教育の中で、図書館とは何かをもう一度考え、図書館の立場を基本的に考えることが必要だと思います。

(委員)

指定管理になると、サービスの低下が心配されます。同じコストで本当にサービスが向上するかなど、いくつか判断に迷うことがあります。具体的な数値や事例を出すことはできませんか。また、I Cタグ導入による効果は数値化できますか。

(会長)

時間もないため、協議会を今日はこれで終了して、来週もう一度議論していただくこととします。

(事務局)

以上を持ちまして、第2回図書館協議会を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。